

——土門拳に捧ぐ——

三好和義写真展 室生寺 十二神将

ノエビア銀座ギャラリーにて開催

2016年1月12日～3月25日



タヒチ、モルディブなど南の島々や、屋久島など日本の世界遺産を写した作品で知られる三好和義は、中学生の頃から土門拳にあこがれ、写真家を志したといひます。

その三好が、土門が愛した室生寺の撮影に挑みました。奈良県北東部、室生山の山懐にある室生寺。本展では、室生寺をテーマとした三好の作品の中から、薬師如来を守護する12体の武神「十二神将」を中心に展示いたします。

三好和義 (みよし かずよし) 1958～ 徳島市生まれ

1986年、初めての写真集「RAKUEN」で木村伊兵衛写真賞受賞。「楽園」を求めてタヒチ、モルディブなど南の島々をはじめ世界各地を巡り、近年は日本の世界遺産、京都御所、桂離宮、仏像、陶磁器、富士山、伊勢神宮など日本の伝統文化や日本人の精神性をテーマに撮影を続けている。

土門拳 (どもん けん) 1909～1990 山形県酒田市生まれ

戦前から報道写真家として活躍し、日本の伝統文化から社会性の高いテーマまで、日本の写真史に大きな足跡を残す。室生寺には1939年以来通いつめ、1954年に写真集「室生寺」を刊行、車椅子生活になって以後も写真集「女人高野室生寺」(1978年)を完成させた。

土門拳に捧ぐ—三好和義写真展「室生寺 十二神将」 《入場無料》

会 期：2016年1月12日(火)～3月25日(金)
 開 催 時 間：午前10時～午後6時 (土・日・祝日は午後5時まで)
 会 場：ノエビア銀座ギャラリー (ノエビア銀座本社ビル1F)
 主 催：株式会社ノエビア
 お 問 合 せ：0120-401-001 (月～金/9:00～18:00 土・日・祝日除く)

ノエビア銀座ギャラリーサイト <http://gallery.noevir.jp/>



東京都中央区銀座 7-6-15

<マスコミの方からのお問い合わせ>

TEL 03-5568-0305 FAX 03-5568-0441 (株)ノエビアホールディングス 広報・IR部 後藤・森山